

# 令和4年度 事務事業評価シート（1）

## [ 令和3年度事務事業 ]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	自治会活動推進事業（西区）			事業番号	214-010
担当部署名	西区役所	局		部	自治推進課

### I. 基本情報

事業の位置付け								
1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	5.強くしなやかな都市基盤 ～Resilient～	施策	(5) 犯罪のない安心して暮らせる地域社会の実現	
			有	取組の方向性	①防犯環境の整備			
		寄与するKPI	有・無	指標名	大阪重点犯罪認知件数			
		有	現状値	1,195件(2019年)	目標値	900件(2025年)		
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(7)パートナーシップで目標を達成しよう	ターゲット	17.17	
			有	取組	地域住民のつながり強化、多様な主体の協働の促進			
寄与するKPI		有・無	指標名	—				
	無	現状値	—	目標値	—			
2	関連計画	—						
3	事業開始年度	昭和 51 年度		点検年度	令和 7 年度			
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	堺市自治会活動推進補助金交付要綱等						
事業の概要								
5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	各区						
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	自治会活動を推進している団体			対象数	単位		
					14	校区自治連合会		
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	自治会活動をはじめとする地域活動を支援することにより、地域の結束力の強化を図り、市民参加・市民協働による明るく住みよい、安全な地域コミュニティの形成や、住民相互の共助による災害に強い地域社会の実現に向けた各種取組の活性化を図る。						
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	<p>○堺市自治連合協議会と連携し、自治会活動のより一層の振興・充実を図るため、校区自治連合会に対して補助金等による支援を実施。地域の実情に応じた自治会活動を行える環境の整備を推進するため、自治会活動や防犯、防災に関する既存の補助金を統合した「校区自治会活動推進補助金」にて支援を実施。</p> <p>○犯罪のない安心して暮らせる良好な地域社会を実現するために防犯灯の電気料金支援を支出。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症が全国的に拡大傾向にある中、自治会活動における感染症拡大防止対策に要する経費を支援。</p>						
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	—						
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	堺市自治連合協議会						
10	公民連携・協働事業	—						

### II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定						
成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績		目標	目標 点検年度
			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和7年度
11 自治会加入率	%	目標値	60	59	58	60
		実績値	59	58		
		達成率	—	—		
		当該指標を選定した理由	自治会組織への加入率は、市民協働・市民参加による地域活動の活性化をはかる客観的な指標となるため。			
目標値の設定根拠・算出方法	自治会加入率の減少傾向を踏まえ、H29～R3年度の平均値をR7年度目標に設定。当該目標に向け、R4年度以降は段階的な目標を設定。 ※R4年度に目標値の算出方法を変更。					
12 活動指標(成果を上げるための手段) 自治会活動の推進に資する各種活動の実施回数	回	目標値	23	23	22	
		実績値	18	23		
		達成率	78%	100%		
		当該指標を選定した理由	自治会活動の実施は、地域の結束力の強化や、自治会加入の促進、各種取組の活性化に寄与するため。			
目標値の設定根拠・算出方法	目標値 = 前年度実績値に年度ごとの事情を考慮して積算					

## 令和4年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	自治会活動推進事業（西区）	事業番号	214-010
-------	---------------	------	---------

### Ⅲ. 投入量

#### 事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。 (単位：千円)

事業費 (a)	令和元年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度
	決算	決算	当初予算	決算	当初予算
13 財源内訳	43,351	40,251	51,330	41,555	65,521
国支出金				1,147	
府支出金					
市債					
その他 ( )					
受益者負担金(使用料、手数料等)					
一般財源	43,351	40,251	51,330	40,408	65,521
14 人件費 (b)	3,410	3,530	3,530	3,530	6,000
15 年間経費(c)=(a)+(b)	46,761	43,781	54,860	45,085	71,521

#### 事業費の内訳

(単位：千円)

事業費内訳	項目	年度		事業費	うち一般財源	項目	年度		事業費	うち一般財源
		R3	R4				R3	R4		
16	校区自治会活動推進補助金	R3	決算	0	0	AED電極パッド等交換補助金	R3	決算	195	195
		R4	予算	34,677	34,677		R4	予算	0	0
	校区自治連合協議会活動補助金 (区自治連合協議会活動補助金含む)	R3	決算	18,717	18,717	その他	R3	決算	32	32
		R4	予算	482	482		R4	予算	134	134
	認定防犯灯電気料金支援金	R3	決算	21,163	21,163		R3	決算		
		R4	予算	29,887	29,887		R4	予算		
	自治会施設賠償責任保険補助金	R3	決算	301	301		R3	決算		
		R4	予算	341	341		R4	予算		
	堺市地域会館等へのWi-Fi環境整備支援事業補助金	R3	決算	1,147	0		R3	決算		
		R4	予算	0	0		R4	予算		

### Ⅳ. 事業の効率性

#### 単位当たり経費

区分	単位	令和2年度	令和3年度	
		17 ①	自治会活動の推進に資する各種活動の実施回数	回
②	上記①にかかる年間経費	千円	482	482
③	単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	26,778	20,957

備考（算出についての説明等） 年間経費に掲示板設置補助金等は含まず。

### Ⅴ. 評価

#### 費用対効果に係る所見

18 令和3年度の単位当たりの経費は、前年度と比較すると6千円程度減額となっている。新型コロナウイルス感染症により、昨年度に引き続いて、自治会活動を実施することが困難な状況ではあったが、手法の見直しや規模の縮小などの対策を講じながら活動を継続した結果と考えられる。  
また、コロナ禍においても、実施手法を工夫しながら安全・安心の取組等を継続しており、各種自治会活動の中で感染拡大防止に向けた対応も実施していただいている。これらの取組みが地域の安全安心の向上に寄与したと考えている。

#### KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19 本補助事業を通じて地域住民による自主的な活動が実施されたことにより、地域の結束力強化や共助の意識を高め、市民参加・市民協働による明るく住みよい安全な地域コミュニティの形成や大阪重点犯罪の減少、住民相互の共助による災害に強い地域社会の実現に向けた取組等の促進・活性化に寄与している。  
また、自治会加入率は、微減傾向にあるが、各地域においては自治会を中心に様々な分野で活発に地域活動が実践されている。行政や警察等と連携協働した取組も積極的に進められており、コロナ対策も実施していただくことで、安全安心の向上が図られ、地域住民のつながり強化や多様な主体の協働の促進に寄与している。